
チェーン・キラー

クラムボン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

チエーン・キラー

【Nコード】

N7706A

【作者名】

クラムボン

【あらすじ】

あなたは、まわりの人に好かれていますか？

いつものように、部活から帰った由実は、いつものように、家のドアを開ける。

「たっだいま〜」

ここまではいつもどおり。

「お帰り、由実。」

いつものように夕飯を作りながら母が返事をする。

「そういえば由実宛てに封筒届いてたわよ。」

「えっ！」

いつもは母宛ての荷物しか届かない。

珍しいな、と思いながら、由実は部屋に封筒を持っていった。

由実は、部屋で届いた封筒を見ていた。

…送り主の名前がない。

不安になるが、好奇心には勝てない。

由実は、おそろおそろ封筒を開けた。

…中身は…

手紙……

と、わら人形。

「きゃっ！」

…由実はびっくりして、封筒を壁に投げつけた。

…何分かつて、由実はやっと気が落ち着いた。

…さっき投げつけた封筒を拾うと、中の手紙を読んだ。

チエーン・キラー

この封筒が届いた人は、一ヶ月中に、中に入っているわら人形で、友達を三人殺し、この手紙と、わら人形を、封筒に戻し、友達一人に送りましょう。

もし、一ヶ月の間に、友達を三人殺し、これを、友達に送れないと、一週間たつごとに、大切な人がいなくなり、二ヶ月たつと、死にま

す。

何これ？チエーンメール？ばっかばかしい！

…くだらない、と思いながら、由実は手紙を丸め、封筒と一緒にゴミ箱にすてた。

次の日、学校から戻ると、部屋に、確かに昨日ゴミ箱にすてたはずの封筒が…

あった。

「う…うそ…。」

五日後、学校から帰った由実は、わら人形と、家にあつたかなづちと、五寸釘を持って、鍵をかけた部屋に閉じこもっていた。

…あれから、あの封筒を何回捨てても、翌日には戻ってきたので、さすがの由実も、怖くなってきたのだ。

「殺す、かあ。」

…嫌いな人はたくさんいる。でも、殺すなんて考えたこともない。
しかし、やらなきゃ自分が死ぬ。

由実 は 決心 した。

「…殺す…。」

…由実 の 一番 嫌いな 人は、クラスメートの 神原 くん だ。

私 だけ が 嫌いな わけ じゃない。

…神原 くん は、男子 女子 関係 無く 暴力 を 振るう。しかも 先生 にも だ。
とにかく、神原 くん は、みんな の 敵 だ。

「こいつ なら…。」

（…わら 人形 で…人 を 殺す 方法 は…よく…わかんない けど…とりあ
えず…神原 くん の 事 を 考え ながら…釘 を 打てば…いい の かな…。）

由実 は、わら 人形 と 釘 を 持ち、かなづち を かまえた。

コン、コン、コン…

まさかそうなるとは思っていなかった。

まさか…神原くんが…。

次の日、学校に行ったら、神原くんがいなかったのだ。

学校なんか休んだことのない、神原くんが。

…しかし、おかしい。

いつも学校に来ている神原くんがいないのに、クラスのみんなは、神原くんの話さえしない。

由実は、思い切って、親友の明日香に、話してみた。

「今日、神原くん来てないね。」

「神原くん？そんな人いたっけ？」

…まさかそうなるとは思っていなかった。

…私は、神原くんを…

…消してしまった。

…みんなに聞いても、誰一人として、神原くんを覚えている人はいなかったのだ。

………

…私は、それから二人の人を消した。

死ぬのは、嫌だったから。

…あとは、このわら人形と手紙を送るだけ。

そうだ、明日香にあげよう。

明日香だって嫌いな人はいるはずだから。

.....

由実は自分では気づいていなかった。

由実は、実はクラスのみんなに嫌われていたことを。

もちろん、明日香にも。

… 1ヶ月後、由実が消えた。

あなたも、もし、由実みたいになりたくなかったら、みんなに好かれる人になりましょう。

由実みたいに、消されなくなかったらね。

(後書き)

あゝつかれたゝ

もうしばらく小説は書けないゝ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7706a/>

チェーン・キラ

2011年1月27日08時08分発行